

3月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



3/6 「もみじ山対抗戦」をテーマにした集会を行いました。今回は3チームに分かれてのチーム戦で仲間と協力することの楽しさを知りました。チームのみんなで何を出すか考える「チームじゃんけん」、リレー形式の「関所じゃんけん」と「新聞紙の島を渡れ」。“あ”のつく言葉や動物園にいる動物を限られた時間内で出し合う「名前集め」。また何を見たり聞いたかをチームの人に伝える「ジェスチャーゲーム」や「伝言ゲーム」。



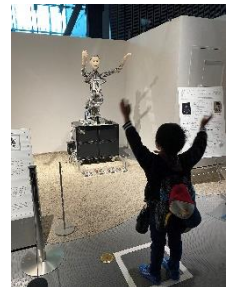
「宝物を集めよう」では各チームで宝物の争奪戦。チーム力や判断力も必要でした。

様々なゲームを次々に行い、あっという間の2時間でした。最後には“金”“銀”“銅”のメダルがそれぞれのチームに授与され、おめでとうビーバーをしました。僅差の銀メダルで悔し涙を見せるスカウトもありました。これで2021年度、もみじ山公園で行う最後の集会が終了です。

3/6 新学期まであと1ヶ月、ビッグビーバーと入隊予定の小2の子が集まって、カブスカウトについて学ぶプログラム、「りすの道」が開かれました。りすの道のハンドブックに沿って、ボーイスカウトを始めたベーデンパウエルのお話のビデオ鑑賞からスタート。その後ボーイスカウト運動について一番大事な、やくそくとさだめ、スカウトサイン、握手、モットーについて、みんなで学びました。難しい言葉はないけれど、知ってるつもりでも説明しようとする中々難しいことを体験。課目を全て修了しました。その後、カブになったら行うプログラムをちょっとだけ体験。ロープ結びとミニハイキングをしました。自然の小枝と記号のお枝を見分けて進んでゴールまでたどり着いたら、ベビーラムネのお宝が！みんなでおいしくいただきました。



3/20 年度最後のビーバー隊集会は「なかまたちと」をテーマに行いました。中野駅でグループに分かれてスタートです。田町駅までの路線を話しあって電車で向かい、田町駅からは歩き、レインボーブリッジを渡りました。そして日本科学未来館へと向かいました。天候にも恵まれ、レインボーブリッジからの景色もサイコー、お台場海浜公園でも海辺での時間を楽しみました。なかまたちと地図を見て、課題を解き、様々なものを観察しました。最終目的地の日本未来科学館では、宇宙や地球についてちょっと勉強してみました。最近入隊したスカウト、まもなくカブ隊へと上進していくスカウト、ゲストで参加した子どもたち、みんなが話しあいながら、一緒に課題に取り組む姿勢が見られたこと、嬉しく思います。今後の一人ひとりの成長が楽しみです。



組む姿勢が見られたこと、嬉しく思います。今後の一人ひとりの成長が楽しみです。

カブ(CS)隊



3/6 組集会 2021年度最後の月に入り、残るは集会2回、舎営1回となりました。まずはジャンケンゲームからスタート。神様お願いジャンケンでは、中々相性が合わずジャンケンすらできない子もいました。前半は2週後に迫った雪中舎営のしおりを配布して参加までの解説プログラム。とにかく大切なのは、“自分のこ





とは自分でします” 荷物は自分でつめることが大切です。舎営参加記念パーカーも配られ、みんな大喜びでした。その後、カブブックの補修プログラム。途中入隊スカウトなど、カブブックが終わっていない子が約半数以上いるのでラストスパートです。ミニハイキングとして、街中の道路標識を探してスケッチして標識を覚えるなどに取り組み、もう少しです。最後に履修してゲットできたチャレンジ章の授与式では、お揃いのパーカーを着て受け取りました。

3/13 組集会 今期最後の組集会でした。年度の締めくくりとして、みんなで一年間を振り返って、一番楽しかったプログラムを、春夏秋冬毎に思い出してリストアップ。次年度のプログラムとしてリーダーが参考にします。後半は公園に出て観察の練習を。公園のあちらこちらに置かれた自然物を見つけて回った後、何があったかをみんなでチェックしました。いちじょうやヒイラギ、かくれみの、笹のはっぱ、モクレンの実、どんぐり、もみじの種などなど。けっこうわからなかったのはたんぼぼの葉っぱ（花が咲いてたら判りやすかったのにね！）。間近な春を楽しみました。



3/6 月の輪集会第4回 桃園区民活動センターにて、3月26~27のキャンプの話をしました。初めてのテントを使ったキャンプは分からないことばかり。持ち物や服装について、ボーイ隊のスカウトやリーダーからアドバイスを聞きました。3月末はまだ寒い？雨が降るかも？どんなキャンプになるか、楽しみにされたかな？

3月末はまだ寒い？雨が降るかも？どんなキャンプになるか、楽しみにされたかな？

3/26-27 月の輪集会⑤ ボーイスカウトになるためのくまスカウト(5年生)だけのプログラム。



この機会に月の輪の仕上げのプロとして、神奈川県藤野の桐花園でのボーイ隊キャンプに1泊2日で参加しました。

どんよりとした天気でしたが、真ん中の本部サイトで自分達のソロテントをたてて、食卓用フライ設営のお手伝いや 焚き火体験、自作コンロ作成などでおやつ作りなどでキャンプのいろ八体験をしました。夜は雨の切れ目にキャンプファイヤーが出来ました。翌朝、リーダーが起こしてくれた焚き火の周りで暖まったあと、朝ごはんの用意のお手伝い。



午前中は月の輪で班サイト訪問に。みんな丘の中腹や河辺のサイトで気持ち良いサイトにお邪魔して様子を教えてもらいました。その後、朝礼後のスカウトオウンサービスや焚き火の続き、ロープ回しに挑戦して、最後にボーイ隊長との面談、各班班長の承認を経て、月の輪全プログラムが修了しました。

ボーイ(BS)隊



3/6 班会議 いよいよ月末に迫ったキャンプに向けて、キャンプ中にやってみたい活動を話し合いました。2月と同じように、班ごとにスカウト同士話し合ってお互いのアイデアを出し合いました。キャンプ初参加のスカウトも多く、中2スカウトを中心にリーダーも参加しながらの会議でした。午後の月の輪

集会には、スカウト4名がジュニアリーダーとして参加しました。

3/13 班集会 キャンプ準備の第2弾、計画書作成に取り組みました。班ごとにキャンプの目標や参加者を決め、2泊3日のタイムスケジュールや献立も決めました。献立は、2月の隊集会で実施できなかったメニューを取り入れました。それぞれ、食事ごとに必要な食材と分量も計算し、リーダーに配給してもらえよう準備しました。

3/26-28 隊キャンプ 神奈川県相模湖近くの桐花園キャンプ場にてキャンプでした。初日は強めの風が吹く中、迫る雨に備えて素早く班サイト（テントなどキャンプ期間中の生活環境）を設営しました。キャンプファイヤを終えると本格的な雨が降り始めました。

2日目は、雨は上がり、日中は陣馬山へとハイキングに向かいました。集めていた薪に火が付かなかったり、ハイキングで時間が無く目的地までたどり着けなかったりもしましたが、これも経験値にしてレベルアップしてほしい！失敗はチャンス！夜にはナイトゲームをしました。視界が良くない夜は、視覚以外が頼りに。耳や鼻のセンサーが鍛えられました。



3日目は撤営。人数分のテントや、キャンプ中に使った道具をキレイに片付けました。班長を中心に役割分担し、時間までにすべての荷物を返却できました。優秀班はフォックス班に。両班共にゲームや点検、活動で甲乙をつけ辛かったです。人数が少なくとも協力して間に合った点を評価しました。来年度はコロナが落ち着き、もっとたくさんのキャンプやハイキングができますように！

3日目は撤営。人数分のテントや、キャンプ中に使った道具をキレイに片付けました。班長を中心に役割分担し、時間までにすべての荷物を返却できました。優秀班はフォックス班に。両班共にゲームや点検、活動で甲乙をつけ辛かったです。人数が少なくとも協力して間に合った点を評価しました。来年度はコロナが落ち着き、もっとたくさんのキャンプやハイキングができますように！

ベンチャー(VS)隊



3/13 2名のスカウトが班集会に奉仕し、ボーイ隊スカウトのキャンプ計画書作成を支援しました。

3/26-28 受験を終えたスカウトも復帰し、多くのスカウトがキャンプ場で集いました。彼らにとっても、久々の宿泊を伴う野外活動は刺激的だったはず。春舎営～ボーイ隊キャンプと良い環境の中で、プログラムを楽しむことができました。次回は、自分たちで企画・運営できるといいですね！



ところで、普段はカッコイ先輩をしている彼らも、年少の立場になることもあるのです。3/21の夜、あすなろ地区のローバースカウトが一堂に会する行事が中野 ZERO で行われました。そこに、飛び入りで参加した彼ら。ジャンボリーなどの行事でお世話になった、ステキな先輩たちにか・わ・い・が・ら・れ・たそう!?

なお、その地区ローバーの集まりに参加した、4月からローバースカウトに上進の山村さんが、さっそく庶務というお役目を引き受けました。

春の舎営



3/19-21 カブ隊・ボーイ隊・ベンチャー隊合同春舎営 福島県那須甲子青少年自然の家

3年ぶりの春舎営は2泊3日の雪中舎営となりました。数日前に東北地方で大きな地震があり、影響が心配されましたが、宿泊地は福島県内でもほとんど栃木県境のため、影響



も少なく実施できることになりました。

3/19：早朝、貸切バスに乗り込んで現地へ。雪深い場所ですが直前の春めいた気温に不安になっていましたが、近づくにつれて雪が多くなってきてみんな大興奮。先ずは日本古来のかんじきハイキング、デンリーダーに履くのを手伝ってもらってスタート。小高い丘を登って、遠くまで見渡せる場所まで行って帰ってきました。天気予報では晴れ時々くもりでしたが、夜になると雪が降ってきて、その後吹雪に。リーダーが下見した安全なコースを、今度はスノーシューでナイ

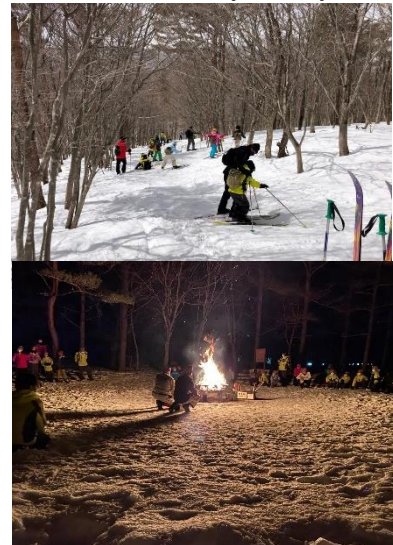


トハイキングに。ライトを頼りに見通しの悪い雪道を進み、かたらいの丘へ。夜行性の動物をみんなで見つけていたら、数名がうさぎを目撃！大感激でした。帰ってから、くまスカウト(5年生)は組長になって初めての組長会議を体験。みんなの日記を提出して、今日の反省と明日の確認を話し合い、消灯時間になりました。



3/20：6:30 起床後、前夜のナイトハイクのコースの朝の散歩からスタート。みんな暗がりと明るい道の違いに驚きでした。動物の足跡探しをして、ウサギの足跡みたいなものを発見。朝食を食べてからいよいよネイチャースキーです。ブーツと板合わせ、装着まで苦労しましたがやっと出発。

ネイチャースキーは歩くように林間を進むスキーのようですが、傾斜があるところではスキー経験者とそうで無い人の差が大きく、ゴールまで行けたのは残念ながら 1/3 だけ。残りは途中で引き返し次回リベンジとなりました。午後はかまくら作りに挑戦。かまくら組とそり組に分かれて交代で両方を楽しみました。



た。大人のデンリーダーも夢中になり、組ごとに短時間で個性のある驚くほど大作ができました。夜は雪景色の中のキャンプファイヤー。寒いので、出来るだけ体を動かさず歌と踊りで短時間勝負でした。

3/21：早くも最終日。お昼過ぎには東京に向けて出発するので、午前中みの活動です。

まずは前日のスキーリベンジ。初心者のためにもコツをつかむためにも広くて平坦な林間コースを選んでネイチャースキーを楽しみました。続いて道を外れて前日のキャンプファイヤー場に到着。そこで、これまでプログラムが盛り



沢山でできなかった雪合戦大会！各組で陣地を決めて戦闘開始！雪景色の中で熱い戦いを繰り広げました。

カブ隊では、それぞれのプログラムで優秀組が発表され、最後に最優秀組発表に。接戦を制した1組に最優秀組に輝きました。3隊で記念撮影をしてバスに乗り込み、東京に向けて出発。3年ぶりの宿泊プログラムで寝食ともにして友情が深まりました。

3月のスカウト進歩情報

CS:	S. P. さん	うさぎバッヂ チャレンジャー章「探検家」
	Y. U. さん	しかバッヂ
	B. K. くん	しかバッヂ
	S. O. くん	しかバッヂ
	R. T. くん	しかバッヂ
	T. T. くん	しかバッヂ
	A. T. くん	しかバッヂ
	K. S. くん	しかバッヂ
	T. Y. くん	しかバッヂ
	K. O. さん	チャレンジャー章「探検家」
	Y. K. くん	チャレンジャー章「探検家」
	N. N. さん	チャレンジャー章「探検家」
VS:	N. Y. さん	信仰奨励章
	T. M. くん	パイオニアリング章、野営章、 リーダーシップ章、野外炊事章
	K. H. くん	国際友情章、野営章、野外炊事章

ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

新年度には、指導者の“人事異動”もあります。本人の希望や各隊のバランスを考えて、団委員会で決定されます。今年も指導者メンバーの入れ替わりがありました。

ローバースカウトも含め、指導者は各種の講習会・研修に参加しています。初歩は「ボーイスカウト講習会」。その後「スカウトキャンプ研修会」を履修して、隊指導者の研修(ウッドバッチ研修所)に参加します。

ボーイスカウト講習会は、指導者に限らず、スカウト活動を知っていただく機会として広く参加を募集しています。お子さんの活動を理解し支えることができるよう、保護者の皆さまにも参加していただくことにしています。年2回春と秋に開催されますので、ご都合のよろしい時にお誘いあわせの上、ご参加ください。特にデンリーダーや補助者を引き受けてくださった方は参加をお願いします。8団の指導者も講習会講師やスタッフとして奉仕参加しています。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

リーダーの活動

3/6	団会議
3/10	地区CS円卓会議
3/11	スカウトキャンプ研修会
3/14	地区委員会
3/20	地区JIG会議
3/24	地区団委員長会議



* 活動の写真の公開方法を変更いたします。
日本連盟が設置した団の Google Drive での共有といたします。ご希望の方は各隊隊長にご自身の Google アカウントをご連絡ください(Google アカウントをお持ちでなくご希望の方はアカウントを作成ください。無料で簡単に作成できます)。

スカウト豆知識

「ちかいとおきて」

上進式で新ボーイ隊スカウトがたてた“ちかい”の内容を改めて紹介しましょう。

「ちかいとおきて」は、創始者ベーデン=パウエルが示したスカウト運動の理念、すなわち、「神へのつとめ」・「他へのつとめ」・「自分へのつとめ」を反映して、スカウト達に分かりやすく、実行しやすいように示したものです。

私(わたくし)は名誉にかけて、次の3条の実行をちかいます。

1. 神と国とに誠を尽くし、おきてを守ります。
1. いつも、他の人々をたすけます。
1. からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います。

“ちかいはスカウトの信条”

スカウトは、名誉を生命とします。その名誉にかけて誓ったのですから、自分で破ることは出来ません。

「ちかい」は一生自己を内省する鏡となり、自分をむち打つ力、すなわち『信条(心のよりどころ)』となるのです。そして、スカウトサインの3本の指は、この3つのちかいを意味します。

- スカウトは誠実である スカウトは友情に厚い
- スカウトは礼儀正しい スカウトは親切である
- スカウトは快活である スカウトは質素である
- スカウトは勇敢である スカウトは感謝の心をもつ

“おきては日常生活のものさし”

「ちかい」が信条なら、「おきて」はスカウトの日常生活のものさしです。8つの項目がありますが、いずれも法律や規則のように「・・・すべし」とか「・・・してはならない」とは書いてありません。すべて「・・・である」と書かれています。

この点に関し、ベーデン=パウエルは次のような言葉を残しています。

『少年は「するな」によって統括されるのではなく、「する」によって導かれていく。スカウトの「おきて」は、彼が間違えをしないよう阻止するものとしてより、むしろ行動の指針とするために考案されたのである。それは模範とも言うべきスカウトに期待されるあり方を明示しているに過ぎない。』